

2018年11月

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

事業所名

スタジオplus+本八幡教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			適切な職員数を配置しております。曜日や時間帯によってまれに迅速な保護者対応や電話対応ができないことがありますが、事業所内のできる限り調整を行っております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		ビルの出入口と室内のトイレに段差がありますが、賃貸物件のためリフォームが難しい状況です。それ以外の室内は段差なく、移動のしやすさに配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			自己評価の結果は、保護者の方々にメールにてお知らせするとともに、HPIにて公開しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			月に2回、臨床心理士の講師の方と読み書き支援の専門家の先生に来ていただき、スーパーバイズを実施していただいております。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			臨床心理士の先生にスーパーバイズを受け、必要に応じて事例検討を実施した上でサービス計画の作成を行っております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			利用者の方の意見を伺いながら、プログラムが固定化しないように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			利用者の方に応じて担当のスタッフを決めています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		<input type="radio"/>		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者が必ず出席するようにしています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	27	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアが必要なお子さんを現在受け入れておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて情報共有を行い、相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだこのような事例はございません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	市川市の発達支援部会や障害児支援連絡会に参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			○	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか			○	利用契約時にサービス内容や利用規約をチェックリストをもとに抜け漏れがないように説明をしております。日々の支援の内容に関しては、毎回の支援後に報告書を作成し、保護者の方に通知しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	定期的な保護者向けイベントは開催できておりません。ニーズを聞き取りつつ、検討していきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	
	35	個人情報に十分注意しているか			○	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	改善の途中ですが、マニュアルの策定はできております。保護者方への周知が足りないようです。マニュアルを教室内で確認できるように掲示致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	年に一度研修に参加し、職員間で共有しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者の方から十分聞き取りを行い、対応する準備を行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し、指示書に基づく対応がされているか			○	ヒヤリハットの記録と事業所内及び法人内で共有を行っております。